

燃える築山!

実りの秋 体験から学ぶ 馬喰から学ぶ

各学年が充実した
見学旅行を実施

元気・夢・思いやり

動物園・班別行動・みかん狩り・通潤橋

秋らしくなってきました。実りの秋のこの時期は、各学年が見学旅行に行つて、体験する中で学びを深めています。1年生く4年生の子供たちは、学校の教室だけでは味わえない、本物を間近で見ることができ、量感を肌で感じ取り、実際に手に取ることで伝わってくる自然の恵み、仲間と合意形成を図りながら協力して行動すること、凶鑑とは違う生き物たちの生態などを感じ取るなど、体験を通して大きな学びを経験してきました。なお、来月には、高学年がいずれも1泊2日で修学旅行や集団宿泊教室に行く予定となっております。



3年生：天水町にみかん狩りに行ってきました。スーパーなどに売ってある商品と違って、目の前の自然の恵み手に取って味わいました。



4年生：通潤橋に行ってきました。大きな石でくみ上げられた橋はもちろん、昔の人の知恵と工夫に驚きました。



1年生：初めての見学旅行。1月には国語の授業で「どうぶつのあかちゃん」を学習するので、今回の経験が生かされそうです。



2年生：熊本の動物園に行ってきました。1年生の時と違って、1時間自分たちだけでコースを決めて見学する班別行動に成功しました。

- ～今回の主な記事～
- ◆実りの秋 体験から学ぶ
動物園・班別行動・みかん狩り・通潤橋
 - ◆11月から帰宅時刻が変わります
 - ◆市陸上記録会に向けて
 - ◆見通しを持つための三か月予定
 - ◆アウトリーチ音楽会開催
 - ◆コラム

11月から帰宅時刻が変わります

これまででは、夕方5時の音楽を聞いたなら、家に帰るようになっていましたが、11月からは、その5時の音楽までには帰宅することとなります。「秋の日はつるべ落とし」と言われるように、気が付くとあつという間に暗くなつてしまいますので、早めの帰宅をするようにしましょう。夕暮れ時は、見通しも悪くなり交通事故も増えますのでご家庭でもお声掛けをお願いします。

市陸上記録会に向けて

裏面の三か月予定にもありますが、11月8日は、玉名市の陸上記録会が桃田運動公園にて開催されます。5、6年生全員が100m走に出場。5年代表（走り幅跳び・ソフトボール投げ）、6年代表（800m走・走り高跳び）、各学年男女2チーム（400mリレー）に出場します。他の行事等もあつて十分な練習時間が取れませんが、一人一人が自己ベスト更新を目指してがんばつているところです。当日の応援については、後日改めてお知らせがあると思えます。

燃える 築山!

情報提供

見通しを持ったための

三ヶ月予定

変更になる場合は随時情報を提供していきます。

11月の予定

- 1日：玉名市教委訪問
- 全学年3時間授業給食あり
- 5日：授業実践交流会のため
- 全学年3時間授業給食あり
- 7日：4年生居住地校交流
- 8日：市陸上記録会
- 4年生花棒おどり体験
- 11日：なかよし学級いもほり
- 12日：火災避難訓練
- 13日：クラブ活動
- 14日：就学時健診
- 全学年3時間授業給食あり
- 15日：4時間授業の日
- 18日：音楽集会
- 1年3組以外の学級は
- 4時間授業給食あり
- 20日：21日：6年修学旅行
- 20日：4年生玉名市音楽会
- 21日：4年生福祉体験プログラム
- 22日：委員会活動
- 28日～29日：5年宿泊教室



12月の予定

- 3日～4日：県市学力テスト
- 5日：振替休業日(7日分)
- 7日：150周年記念式典
- 150周年記念バザー
- 10日：人権集会旬間
- 11日：クラブ活動
- 12日：4年生福祉体験プログラム
- 13日：授業参観・4時間授業給食あり
- 16日：4年生福祉体験プログラム
- 24日：冬休み前集会
- 25日～1月6日：冬休み
- 1月の予定
- 7日：冬休み明け集会
- 14日：登校班長会議
- 15日：クラブ活動
- 27日：校内持久走大会
- 29日：委員会活動

アウトリーチ音楽会開催

今月29日には、アウトリーチ音楽会が行われました。熊本市にある「リヴィエール」という団体の方5名が来校され、子供たちに生の演奏を披露してくださいました。

持参された楽器は、「フルート」「ピアノ」

【打楽器】「コントラバス」「チエロ」でした。初めて見るような楽器もあり、またきれいな音で奏でられる曲に、子供たちも真剣に耳を傾けていました。コントラバスの演奏体験もさせていいただき、本物の演奏を聴くことで、芸術の秋を堪能した子供たちでした。

【演奏された曲】

ラデツキー行進曲・アイネクライネナハトムジーク・踊る子猫・シンコーティッドクワック・築山小校歌・もみじ



▼危険な遊び(道路でスケートボードや自転車)をしていて子供たちに注意をされたところ、逆に文句を言われたという苦情が地域の方から寄せられました。危険な遊びももちろんですが、注意を受けたことを素直に受け入れることの大切さを学校でも家庭でも教えていかなければいけません▼反面、先日の下校時にはこんなこともありました。4年男子児童と正門前から渡ろうと信号待ちをしていました。反対側には、酸素ポンベを搭載したキャリアカーを苦しそうに引くおばあちゃん姿が…。その子は心配そうに「大丈夫かな?」と、「渡ったら声をかけてみる?」と聞くとすぐにながさきました▼信号が青になり駆け寄ると、キャリアカーの車輪が側溝の隙間にはさまっていたので、男の子と一緒に救出している人を気遣い、手を差し伸べてくれた男の子の優しさと行動力に感心しました。

HPからダウンロードができます。

